

TABEL花壇から始まる地域防災プロジェクト

～食でつながる、学校と地域。高校生が担う防災の一步～

北海道美唄尚栄高等学校
ボランティア局

01 TABEL花壇

「食」から、防災へ。



食べる・備蓄できる花壇



地域の中にある「食」と「防災」の接点

02 9/29 防災カレー

まずは、自分たちでやってみる。

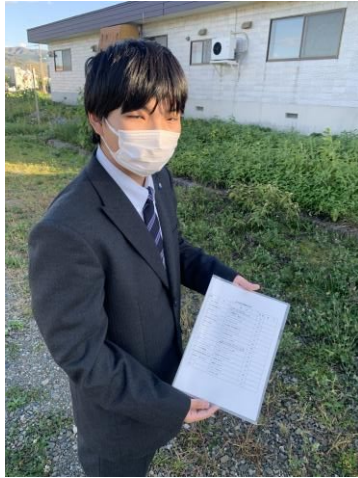


ジャガイモ、にんじん、たまねぎ、ツナ缶 でカレーを作りました！

あるものでつくる「練習の練習」

03 福祉会館・防災倉庫

学校のすぐそばにある、地域の備え。



04 11/7予定 50人炊き出し

今度は、地域と一緒に実践する。



※写真は、イメージです



「10人」から「50人」へ。実践のスケールを広げる

05 美唄市へのお願い

学校だけではなく、地域全体で備えるために。

5 美唄市へのお願い

この活動を実現するために、ご協力をお願いします

1 炊き出しの経験がある方・団体の紹介
地域の方々や団体をご紹介いただき、炊き出しの方法やノウハウを学びたいです。

2 地域とのつながりづくりのアドバイス
学校近隣の自治会や住民の方々への声のかけ方についてアドバイスをいただきたいです。

3 防災担当部署との連携・設備の相談
避難所運営や炊き出しに必要な準備・安全管理について学ぶ機会をいただきたいです。
屋外キッチンの使用の可否や必要な手続きについてご相談させてください。

1 TABEL花壇

食から始まる、地域防災の一步

- 本校の校門前に、ボランティア局が管理している花壇があります。
- 今年のテーマは「TABEL花壇」です。
- 「食べる」と「TABLE（食卓）」を掛け合わせた、食べる花壇です。
- 白い花が咲くジャガイモの品種「とうや」を植え、育ててきました。
- ジャガイモは、収穫後に保存することができ、災害時の食料としても活用できる農作物です。

私たちは、花壇で育てたジャガイモを使って防災カレーをつくり、地域防災につなげようと考えました。

4 11/7・50人炊き出し

地域の方々と一緒に、炊き出しを練習したい

目 標	カレーライス50人分をつくる
実施予定日	11月7日（土）※第一目標
参加者	ボランティア局13名＋地域の方々
内 容	調理・配膳・衛生管理・片付けまで、一緒に練習する
食 材	お米は本校で確保 その他の食材や消耗品など、約13,620円を見込む
会 場	本校敷地内での実施を予定 （活動に適した場所があれば校外も検討）
設 備	美唄ハーフマラソン大会で使用されていた屋外キッチンの使用についてご相談したい

2 9/29 防災カレー

まずは、自分たちでやってみる

- 9月29日（火）の放課後、15時45分から17時15分まで、10人分の「あるものでつくる防災カレー」に挑戦しました。
- 災害時には、いつも必要な食材がそろっているとは限りません。
- 身近にある食材や使えるものを活用し、限られた条件の中で、どのように食事をつくることができるのかを考えながら取り組みました。

実際にやってみて見えてきたこと

- 調理の手順や役割分担の大切さ
- 衛生管理や準備に必要なこと
- 片付けまで含めた全体の流れ
- 実際に動いてみなければ分からない課題

次は、地域の方々から学びながら、より実践的な炊き出しの練習につなげたい。

5 美唄市へのお願い

この活動を実現するために、ご協力をお願いします

- 1 炊き出しの経験がある方・団体の紹介**
地域の方々や団体をご紹介いただき、炊き出しの方法やノウハウを学びたいです。
- 2 地域とのつながりづくりのアドバイス**
学校近隣の自治会や住民の方々への声のかけ方についてアドバイスをいただきたいです。
- 3 防災担当部署との連携・設備の相談**
避難所運営や炊き出しに必要な準備・安全管理について学ぶ機会をいただきたいです。
屋外キッチンの使用の可否や必要な手続きについてご相談させてください。

3 福祉会館・防災倉庫

地域を知ることから始める

- 本校の向かいには、福祉会館があり、地域の避難所にもなっています。
- 福祉会館には、防災倉庫が設置されています。
- まず、防災倉庫を見学し、どのような備蓄品や防災資機材が準備されているのかを学びたいと考えています。
- 災害時に、避難所ではどのような支援が必要になるのか、高校生にできることは何かを考えます。
- 学校と福祉会館、地域の方々とのつながりを深め、災害時に互いに協力し合える関係づくりを目指します。

地域の備えを知ることが、炊き出しの練習をより現実的な防災学習にし、地域とのつながりにつながります。

6 つなげる力

食でつながる、学校と地域。高校生が担う防災の一步

- 私たちが目指しているのは、カレーを50人分をつくることではありません。
- 炊き出しができる人を一人でも多く増やすこと。
- 困ったときに声を掛け合える関係をつくること。
- そして、災害時に高校生も地域を支える一員になることです。

「食」を通して人と人をつなぎ、「学び」を通して地域とつながり、いざというときに行動できる高校生になる。

私たち高校生の小さな一歩を、地域の皆様と一緒に、大きな力へと育てていきたいです。

06 つなげる力

「カレーをつくる」から、その先へ。



TABEL花壇



防災カレー



地域との炊き出し

TABEL花壇から始まる地域防災プロジェクト

～食でつながる、学校と地域。高校生が担う防災の一步～

北海道美唄尚栄高等学校
ボランティア局